

令和3年度 第4回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

日 時	令和4年3月25日（金）午前10時から正午まで
場 所	港南区役所6階 603号会議室
出席者	藤田会長、木村副会長、杉山副会長、若林委員、小室委員、穂永委員、塩田委員、守分委員、須田委員、栗原委員
議 題	1. 今年度の各団体の活動実績及び来年度の活動の方向性について 2. その他

【協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所が一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成26年度から設置しています。

港南区連合町内会長連絡協議会（藤田誠治 会長：芹が谷）



安全・安心まちづくりの推進ということで、防犯指導員と地域防犯連絡員が一緒になって地域防犯活動を進めています。各連合・地区社協の会長合同意見交換会では、天ぷら油回収のお願いと、地球温暖化に対する影響について勉強会をしました。天ぷら油回収により、少しでも地球温暖化対策に協力できるということを理解していただいたうえでお願いしたいと思います。

ICTの活用については、各連合でソフトバンク等からの情報提供を基に、自らの地域でどのように活用できるのかを学んでいます。しかし、新しいことを次々にやるのではなく、できることからやっていきたいと考えています。

港南区社会福祉協議会（木村妙子 会長：野庭住宅）

区民の皆様とともに「協働による地域づくり」を行うため、区役所・地域ケアプラザ等と連携し、第4期港南区地域福祉保健計画（港南ひまわりプラン）を推進しました。また、地域福祉活動の中核を担う地区社会福祉協議会が地域の福祉課題の解決を目指した活動を展開できるよう、福祉ネットワーク事業をはじめとした活動の支援、研修、助成を行いました。地域活動の人材育成については、区民活動支援センター、地域ケアプラザ等との連携による多様な講座を実施しました。



港南区民生委員児童委員協議会（杉山静枝 会長：日野南）



5月12日が民生委員の日ということで、区役所にて各地区の活動の様子を紹介するパネル展を実施しました。「民生委員・児童委員として必要な防災知識」をテーマに実施した港南区民児協全員研修では、唯一全員が集まる機会となり、皆が集まることの大切さを感じることができました。

来年度の活動も今年度同様になると思いますが、12月に一斉改選があるので、楽しくてやりがいのある民児協づくりをしなければいけないと考えています。

港南区地区社会福祉協議会分科会 （若林諭 会長：永谷）



今年度はできることをやろうということで活動をしました。各地区の様々な状況を知り、各自の地区で活動の参考となるように、意見交換会を行いました。今年度は子どもの現状について、地域ケアプラザについて、障害について話し合いましたが、それで終わるのではなく、実行していくことが大事です。来年度はこの3つを広げていきます。新しい課題や新しい方向性を意見交換会で話し、それを実行できるように進めていきたいと思ひます。

港南区スポーツ推進委員連絡協議会 （小室俊博 会長：日野第一）

横浜市が中心になって行う世界トライアスロンシリーズ横浜大会への派遣、新任研修会としてのファジーバレーボール、ラジオ体操研修、全体研修会ではグラウンドゴルフ運営の研修を実施しました。区民全体を対象とした健康ランニング大会等の大きな大会はコロナ禍でできませんでしたが、各地区では皆さんの協力を得て、感染対策を取りながら少しずつ活動していただきました。来年度はすべて実施できるようにしていきたいと思ひます。



港南区青少年指導員協議会 （穂永進 会長：日野第一）



各地区で行った全市一斉統一行動パトロール活動と、港南ふれあい公園にて開催した港南ひまわりピックを通して、直接区民の方とふれあえることができました。

また、長年のテーマとしてボランティアがあります。港南ひまわりピック等でも簡単なボランティアを募りながらやってきたので、これからも力を入れていきます。民法改正に伴い、4月から成人年齢が18歳になりますので、地域の力としてできるだけ早く参加し、力になって欲しいと思ひます。

港南区シルバークラブ連合会 （塩田良英 会長：野庭団地）

スポーツ関係の活動がすべて中止になってしまいましたが、できることはやってきました。約70名が参加した3月の会長研修会では、今年度の振り返りと来年度について原則今まで通りに進めることの確認を取り合いました。また、この研修会で皆が会って話をすることが非常に大事だということを実感しました。今後は自治会町内会等の協力を得ながら、会員の減少・各クラブの解散防止、加入促進を図り、地域が支えられる高齢者づくりをしていきたいと思ひます。



港南区食生活等改善推進員会 （守分光代 会長：永野）



主な活動である「食を通じた市民の健康づくり推進事業」では、集合型の講習会ではなく、会員が一人一人対象者に話をしながら資料を配布するという活動をしました。これが会員のスキルアップにつながったと思ひます。他にも、各地区で他団体や地区センター等からの依頼事業も行うことができ、お隣さんへの啓発活動という私たちの原点に返った活動ができました。来年度は、現在各所で思わぬ災害が起きていることもあり、自助で、健康的な食生活をとってもらえるような啓発ができればよいと思ひます。

港南保護司会 （須田次朗 会長）



コロナ感染状況の波に合わせて、いろいろな活動の見直しをしました。社会を明るくする運動として、毎年行っている作文コンテストを実施し、元気な地域づくりフォーラムにて発表することも出来ました。また、初の取組として、保育園・幼稚園の幼児の協力を得て、更生保護のマスコットキャラクターであるホゴちゃんのぬりえを展示しました。保護司会主催で毎年実施している、小中学校の先生方との研修会では、今年度は「親業のコミュニケーションで信頼関係づくりを」というテーマで講習会をしました。来年度はこの2年間出来なかったことを取り組んでいこうと考えています。

港南区役所 （栗原敏也 区長）

3年度を振り返ると、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策の1年でした。福祉保健課を中心に平日の夜間、土日も含めて対応して乗り切りました。他にも、区民の皆様が地域で輝いている姿を知っていただくために、地域の活動取材し、HPにて写真と共に紹介する「まち・ひと・ダイアリー」を立ち上げました。また、港南区は4年度からデジタル区役所のモデル区となりました。デジタルというと冷たいイメージがありますが、「あったかデジタル」を目指し、皆様と一緒に、ICTの技術を使って何か便利になるようなことができればと考えています。



当日の様子

